

J C H O

二本松病院

二本松市成田町1-553

TEL.0243-23-1231

FAX.0243-23-5086

<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>

発行者：あゆみ編集委員会

あゆみ

「胃癌治療の現状と今後」について

胃癌は、わが国で最も罹患率の高い悪性腫瘍であり、男性では前立腺について、女性では乳癌、大腸癌について多い。胃癌は世界的に減少傾向にあるが、日本では人口の高齢化に伴い罹患患者数はいまだ増加傾向を示している。ほぼ半数が早期癌であり、内視鏡的切除などさまざまな低侵襲治療法の開発が進む一方、進行癌に対する化学療法の実績はいまだ十分とはいえず、治療に関しては根治手術が欠かせない。本邦における標準術式であるリンパ節の系統的郭清(D2)は欧米でのランダム化比較試験(RCT)で一時的に否定されたが、長期フォローアップの結果と欧米での手術成績の向上により、2010年以降世界のガイドラインでも推奨されるに至った。

胃癌術後補助化学療法は2007年に国内でも初めての大規模RCT(ACTS-GC)の結果S-1単独療法が標準となった。以後、韓国でカペキサリン+オキサリプラチン(CapeOX)療法の効果がCLASSIC試験により確認され、胃癌学会ではいずれも「推奨される治療法」としてガイドライン速報に記載した。しかしながら、現時点でこれらの比較や使い分けについての基準はなく、個々の患者のリスクや全身状態を考慮して、両療法のリスク・ベネ

フィットを考察し、患者さんには十分な説明をしたうえで、同意を得て治療法を決定することが求められる。

切除不能進行がんの標準治療はSPIRITS試験でS-1+CDDP(SP)のS-1に対する優越性が示され、SPが標準となった。しかしながら、CDDPの腎毒性で適応外や入院治療が必要になる場合が多い点を考慮すると、近年胃癌でも適応となったオキサリプラチン併用のCapeOXやSOXが実診療で行われるケースが増えている。今後はこれまでの複数のRCTを統合解析することと、遺伝子解析によるバイオマーカー研究により、個々の患者により適切なレジメンを選択できる個別化治療が望まれる。

外科 診療部長 円谷 彰



思♥春♥期♥教♥室

当院では、助産師による高校での思春期教室を行っています。出産のエピソードを交えながら、『命』の誕生や尊さ・親の思い…等についてお話をさせてもらっています。また、性感染症や望まない妊娠についても触れ、必要な知識と対応について具体的に説明を行っています。子供たちへの質問で分かったこと、それは今この時期に人の親になることを望む子はいないということです。だからこそ正しい知識を『知る』ことは大切なのだと思います。初めて聞く『生や性』に関する内容のため、気恥ずかしさも正直あり、話を聞いている子供たちは、時折笑ったり、顔をしかめたり、茶化したり…その表情はくるくる変わるけれど、でもその目は真剣です。彼らを見ていると、大切なことはきちんと大人が子に伝え、守っていかねばいけなくて実感します。あの日、産声を上げた赤ちゃんも気が付くとあっという間に成長し、親の手の中から社会へと巣立っていきます。共に過ごせる時間は思いのほか少ないと感じます。思春期の子育ては、時に親も思い悩むこともあるかと思いますが、子供さんとの時間を有意義に、そして大切に過ごして欲しいと思います。



助産師 佐藤 陽子

あなたの食事を応援し隊!!



こんなお悩みありませんか? 糖尿病を始めとする生活習慣病の食事療法の多くは、生涯継続して実践していかなければなりません。その間には、仕事のストレスやトラブル、家族の世話など、さまざまな状況に直面し、時には現実逃避から暴飲・暴食に走ってしまう方も少なくないのではないのでしょうか。また、「こんな風にやっているんだけど、なかなかうまくいかないんだ」と努力が結果に結びつかない方だっていらっしゃると思います。

患者様の「どうしたらいいんだろう?」の疑問や不安に寄り添い、「こうしたい」「こうなりたい」という希望が実現できる方法を一緒に考え、ご提案させて頂くのが、私たち管理栄養士の役割です。「食事療法」と聞くだけで、「辛くて苦しいもの」と思いませんか? ぜひ一度栄養相談を受けてみましょう! あなたの食事を応援隊として、気軽に話ができる身近な存在でありたいと思っています。ご希望の方は、担当医に「栄養指導を受けたい!」とお話し下さい。

Q 栄養相談は、どのくらい時間がかかるの?

初回のみ30分、2回目以降は20分程度お時間を頂きます。検査や診察の待ち時間を利用して行いますので、時間の無駄がありません。

Q 何か記入しなければならないの?

初回のみ簡単な食事記録などをご記入頂いています。

Q 難しいことと言われるんじゃないのかな?

フードモデルや紙芝居などを用いて分かりやすくお話するよう努めています。無理なことは言いません。「本当はこうしたい」の希望が実現できる方法を一緒に考えていきましょう。

Q 外来患者だけなの?

退院する前に栄養相談を受けたいんだけど…

入院中も随時栄養相談を受けることができます。ぜひ担当医にお申し出下さい!

Q 栄養相談って1回しかできないの?

入院中は2回までですが、退院後に外来でも継続することが可能です。お勤めは、受診のたびに受講する「6回コース」です。最初は緊張されていた患者様が、だんだんと打ち解けているいろいろな悩みをお話して下さるようになります。楽しくて延長されている方もいますよ!

Q お金はどのくらいかかるの?

患者様によって異なりますが、3割負担の方であれば、だいたい600円程度です。追加料金等はありません。



最近採用になった薬剤、粉碎できない薬剤について

薬剤科による講演会(平成28年度第1回)を5月26日に開催しました。

演題は「最近採用になった薬剤(H27.10月~H28.3月)」及び「粉碎できない薬剤」の2題で、新規に採用になった薬剤の作用・使用法・副作用などについて及び、粉碎してしまうと思わぬ副作用がおきることがあるため粉碎してはいけない薬剤等の内容です。

この講演会は病院、老健などの職員を対象に毎年行い、当日は約60名の職員が参加しました。また、当日参加できない職員には院内ネットで視聴できる体制をとっています。

薬剤科では薬品を安全に使用することを目的とした広報を業務の一環として行っており、「新規に採用になった薬剤の適正使用について」、「新たに追加になった副作用」などを職員に周知するため、年2回の院内講演会やドラックインフォメーションを毎月発行し

ています。これからも、医療の安全性の確保に貢献できるように努めていきたいと思っています。

薬剤科長 安齋 千春



次の講演会は10月を予定しています。

医療安全研修に参加して

6月4日パラマウント(株)仙台支店にて「転倒転落事故の現状発生要因」、「製品を通じた事前対策」について勉強してきました。

現在の医療・介護の現場で起きる転倒転落事故とは、複雑に重なり合った要因(環境・管理・利用者個別の要因)で起きる為、システムを確立し、組織によるアプローチが必要という事と「転倒転落事故はゼロにはできない」という事を認識し、終わりの無い取り組みに挑戦し続けていく事で患者(利用者)の安全を守る事ができると強調され話されていました。

また、パラマウント商品の最新ベッドは、事故防止・業務簡略化を目指し、臥床されているだけで状態把握や電子カルテへの自動記載が

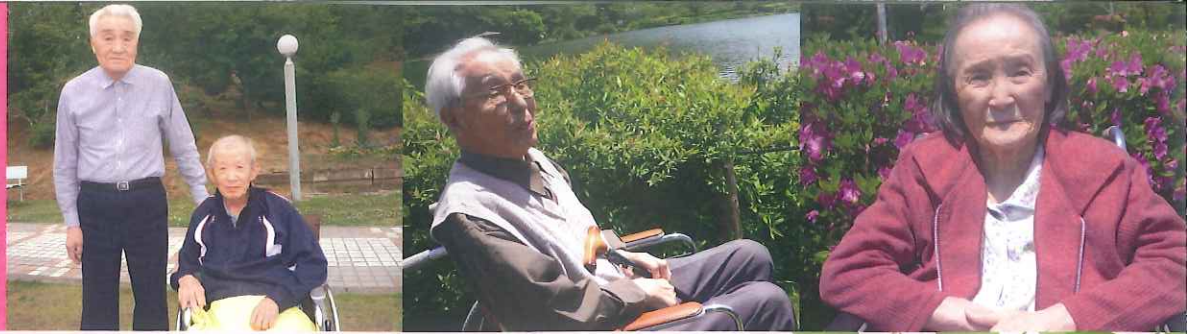
できるという素晴らしい物で、今後の超高齢化社会を迎える中で、最新のシステム研究は医療や介護の暗い未来を大きく照らすもので、こういった外部組織とのチームアプローチを取り入れる事で安全を拡大出来るのだと視野を広げる事ができました。

老健 介護福祉士 吉田 啓安

勉強会テーマ

- 電動ベッドの特徴と使い方
- ベッド周りの安全対策(原対策等)
- マットレス体感勉強会
- 介護負担を軽減する移乗用具勉強会(リフト等)
- ポジショニング、体位変換器の使い方(バナターンを使用時のポジショニング確認)
- その他()





「新緑・初夏のドライブ」に行ってきました!

～目に青葉、山ホトトギス、初ガツオ～

新緑と初夏を感じて頂けるように岳の鏡が池と安達ヶ原ふるさと村へ行ってきました。

5月に2回予定していたドライブも、雨で中止となり、5月19日には天気も良くなり岳の鏡が池に行ってきました(2階利用者様)。池を覗いていると私たちを出迎えてくれるかのように鯉が沢山寄って来て泳いでくれました。また、池周辺ではつつじが満開となっていて利用者の皆さんは「今年は満開のつつじを2回見ることができたね。」と言ってとても喜んでくれました。

6月になって初夏を思わせる日が続く中、14日(3階利用者様)には安達ヶ原ふるさと村へ行ってきました。ふるさと村でも沢山の鯉に出迎えられ、周辺にはアヤメをはじめ沢山の花が咲いていて癒されました。

園内に建ててある古民家を眺めては、「わたしも昔はこんな家に住んでいたんだよ…」と昔を思い出しながら

生き生きとした笑顔で話していたのが印象的でした。これからも利用者の皆さんの笑顔が見られるようにいろいろな行事を行っていきたく思います。

附属老健サービス向上委員会
委員長 佐藤 薫



訪問リハビリ紹介

訪問リハビリが開設されて8ヵ月経過しました。訪問リハビリの目的は、「利用者様の暮らし」において、より良く生きるための「支援」と「夢」を叶えることを目標としています。

ご相談はお気軽に、医療相談員の吉田までご連絡をください。

主任理学療法士 赤岡 智行



栄養管理室では、患者さんに行事食を提供しています。

今月は、「父の日」の行事食を紹介します。栄養管理室一同、「安心・安全」な食事に心がけて、栄養管理と調理をしております。

父の日

- ・海鮮丼
- ・ワカメサラダ
- ・揚げだし豆腐
- ・デザート



編集後記

いよいよ夏本番です。これからの時期は、麦茶、ビール、そうめんなど冷たいものや、さっぱりしたものが欲しくなる季節です。しかし、冷たいものばかりでは身体が冷えて、胃腸の働きが弱まってしまいます。たまには温かい飲み物でホットしてみてもいいかもしれません。そして、今年は4年に1度のスポーツの祭典、リオデジャネイロオリンピックが、遠くブラジルの地で開催されます。連日連夜の白熱した戦いに、寝不足気味になるかもしれません。熱中症対策においても、十分な休息は必要です。身体をいたわり、暑い夏を上手に乗り切りましょう。

Y・T記